

令和2年度 大阪府立芦間高等学校 学校教育自己診断  
アンケートの集計結果に対する見解

◎ 調査概要

- (1) 実施日 11月19日(木)～12月4日(金)
- (2) 実施方法 回答方式 マークシート方式  
生徒 期間中のLHRの時間に一斉実施  
保護者 期間中に生徒に持ち帰らせ、回答後生徒経由で回収  
教員 職員会議において一斉実施
- (3) 回答数 生徒 1年237人(243人中)、2年231人(238人中)、3年226人(243人中)、  
合計694人(724人中)(回収率96.0%)  
保護者 201人(243人中)、2年185人(238人中)、3年207人(243人中)、  
合計593人(724人中)(回収率81.9%)  
教員 57人(64人中)(回収率89.1%)

◎ 集計結果に対する見解

各設問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の5つの選択肢から回答を選ぶ形式でアンケートを実施した。「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合を「肯定率」として、判断の基準とした。

	校長	令和2年度							
		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	25 校長先生の話は、分かりやすい。	1年	17.8%	30.9%	5.5%	4.7%	41.1%	48.7%	10.2%
		2年	19.9%	32.0%	13.4%	7.4%	27.3%	51.9%	20.8%
		3年	24.8%	35.8%	9.7%	3.5%	26.1%	60.6%	13.3%
		全体	20.8%	32.9%	9.5%	5.2%	31.6%	53.7%	14.7%

前年度から肯定率が12.4ポイントあがった。今年度は、臨時休業など例年と状況が違った。生徒によびかける場面が多く、理解しやすく、共感を得る工夫を行ったことが成果につながったと思われる。

教員	1	夏期閉庁日や一斉退庁日など芦間高校は働き方改革を意識した取り組みを実践している。	人数	19	22	9	9	1	41	18
			百分率	31.7%	36.7%	15.0%	15.0%	1.7%	68.3%	30.0%

社会全体で働き方改革が求められる中、本校においても夏期閉庁日を8月中旬に1週間設け、また、週1日極力超過勤務をしない全校一斉退庁日を設けている。ここ数年、超過勤務の平均、人数ともに減少しており、一定の成果がみられる。

	校長・教頭	令和2年度							
		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	1 芦間高校に入学して良かった。	1年	40.1%	43.0%	5.5%	4.2%	7.2%	83.1%	9.7%
		2年	33.5%	42.6%	9.6%	3.9%	10.4%	76.1%	13.5%
		3年	42.0%	46.0%	5.8%	3.1%	3.1%	88.1%	8.8%
		全体	38.5%	43.9%	6.9%	3.8%	6.9%	82.4%	10.7%
保護者	1 子どもは芦間高校に入学して良かったと言っている。	1年	56.2%	31.3%	7.0%	2.0%	3.5%	87.6%	9.0%
		2年	39.5%	38.4%	9.2%	3.2%	9.7%	77.8%	12.4%
		3年	53.6%	31.9%	6.8%	1.9%	5.8%	85.5%	8.7%
		全体	50.3%	33.6%	7.6%	2.4%	6.2%	83.9%	9.9%
教員	2 生徒たちは芦間高校に入学して良かったと言っている。	人数	15	34	1	2	5	49	3
		百分率	26.3%	59.6%	1.8%	3.5%	8.8%	86.0%	5.3%

概ね、「芦間高校に入学して良かった。」と感じているのは喜ばしいことである。特に、3年生が2年次の値より増加していることが特徴的である。一方、1割程度、否定的な生徒もおりその原因を探り、対応を検討していきたい。

生徒	2	芦間高校の授業は、わかりやすい。	1年	10.1%	55.7%	21.1%	6.3%	6.8%	65.8%	27.4%
			2年	4.3%	50.6%	29.0%	5.2%	10.8%	55.0%	34.2%
			3年	11.1%	57.5%	18.6%	2.7%	10.2%	68.6%	21.2%
			全体	8.5%	54.6%	22.9%	4.8%	9.2%	63.1%	27.7%
保護者	2	芦間高校の授業はわかりやすいと言っている。	1年	6.0%	52.7%	22.9%	7.5%	10.9%	58.7%	30.3%
			2年	4.9%	50.3%	24.9%	5.4%	14.1%	55.1%	30.3%
			3年	10.1%	57.0%	18.8%	1.9%	12.1%	67.1%	20.8%
			全体	7.1%	53.4%	22.0%	4.9%	12.4%	60.5%	26.9%
教員	4	魅力ある授業になるよう、指導方法の工夫・改善を行っている。	人数	20	34	1	1	1	54	2
			百分率	35.1%	59.6%	1.8%	1.8%	1.8%	94.7%	3.5%

生徒の肯定率は、昨年度より上がった。保護者に変化はない。一方、教員は ICT 機器の活用等、指導方法の工夫、改善は行っていると考えており、その差は大きい。今年度は、ICT 機器を活用する授業が増えている。「わかりやすい」かどうかについては、求める学習レベルにもよるが、進路実現に向けて高いレベルの学習内容をわかりやすく伝える工夫が、更に必要と考えられる。

生徒	4	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など、家庭等での学習時間が以前より増えた。	1年	23.6%	33.8%	22.8%	12.7%	7.2%	57.4%	35.4%
			2年	13.9%	26.4%	32.0%	18.6%	9.1%	40.3%	50.6%
			3年	21.8%	34.7%	22.2%	16.0%	5.3%	56.4%	38.2%
			全体	19.8%	31.6%	25.7%	15.7%	7.2%	51.4%	41.4%
保護者	4	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など家庭等での学習時間が以前より増えたようである。	1年	17.4%	37.8%	25.9%	15.4%	3.5%	55.2%	41.3%
			2年	12.4%	30.8%	31.4%	18.9%	6.5%	43.2%	50.3%
			3年	21.7%	35.3%	23.7%	14.0%	5.3%	57.0%	37.7%
			全体	17.5%	34.6%	26.7%	16.0%	5.2%	52.1%	42.7%
教員	5	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など、家庭等での学習時間が以前より増えるように指導してる。	人数	16	23	6	4	8	39	10
			百分率	28.1%	40.4%	10.5%	7.0%	14.0%	68.4%	17.5%

家庭学習については、増加したと感じている生徒・保護者が半数を超えた。臨時休業中の課題などで自宅学習が自然と増えたのだろう。教員は、昨年度と変化がない。学習時間が増える用の課題を学習状況に反映するオンライン学習を今後とも活用したい。進学型総合学科をめざすうえで結果につながるようにしたい。

保護者	10	家庭への連絡は、きめ細かく行われている。	1年	20.9%	40.3%	18.4%	8.0%	11.9%	61.2%	26.4%
			2年	16.8%	46.5%	18.9%	5.4%	12.4%	63.2%	24.3%
			3年	21.7%	42.0%	19.3%	6.3%	10.6%	63.8%	25.6%
			全体	20.0%	42.9%	18.8%	6.6%	11.6%	62.9%	25.4%
教員	11	家庭への連絡を、きめ細かく行っている。	人数	16	26	3	2	10	42	5
			百分率	28.1%	45.6%	5.3%	3.5%	17.5%	73.7%	8.8%
保護者	11	芦間高校は、保護者の相談に応じてくれる。	1年	17.4%	34.3%	10.0%	2.0%	35.8%	51.7%	11.9%
			2年	20.0%	35.1%	10.3%	1.1%	33.5%	55.1%	11.4%
			3年	23.2%	34.3%	9.7%	1.4%	31.4%	57.5%	11.1%
			全体	20.5%	34.5%	9.9%	1.5%	33.4%	55.0%	11.4%

生徒	14	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	1年	18.2%	49.6%	9.7%	6.4%	16.1%	67.8%	16.1%
			2年	13.9%	46.8%	17.3%	6.9%	15.2%	60.6%	24.2%
			3年	20.4%	46.2%	16.0%	6.2%	11.1%	66.7%	22.2%
			全体	17.5%	47.5%	14.3%	6.5%	14.2%	65.0%	20.8%
教員	15	教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	人数	16	30	6	0	4	46	6
			百分率	28.6%	53.6%	10.7%	0.0%	7.1%	82.1%	10.7%

家庭連絡の肯定率は5ポイントあがった。Edmodo の活用も影響しているようだ。保護者はこまめな連絡を望まれる方も多しと考えられる。今年度も経験を活かしたい。また、保護者の相談については、肯定率はほぼ同じである。SCへの相談件数も多く、要望にこたえつつあると考えている。

生徒からの相談については、どの学年も肯定率が増加した。こちらも edmodo の生徒からの担任への一対一のメッセージ機能も影響していると思われる。

生徒	16	国際理解、福祉ボランティア等について学習する機会がある。	1年	6.4%	29.8%	20.9%	8.5%	34.5%	36.2%	29.4%
			2年	8.2%	29.9%	32.5%	10.8%	18.6%	38.1%	43.3%
			3年	13.8%	35.1%	24.9%	7.1%	19.1%	48.9%	32.0%
			全体	9.4%	31.5%	26.0%	8.8%	24.2%	41.0%	34.9%
保護者	16	芦間高校は、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせようとしている。	1年	11.4%	32.8%	15.4%	2.0%	37.3%	44.3%	17.4%
			2年	15.1%	33.0%	11.9%	4.3%	35.7%	48.1%	16.2%
			3年	17.4%	32.4%	13.5%	0.5%	36.2%	49.8%	14.0%
			全体	14.8%	32.8%	13.6%	2.2%	36.3%	47.6%	15.8%
教員	17	芦間高校は、国際理解、福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	人数	10	21	13	5	8	31	18
			百分率	17.5%	36.8%	22.8%	8.8%	14.0%	54.4%	31.6%

肯定率が減少した。芦間高校では、毎年3月にオーストラリアへの語学研修に約20名が参加、海外修学旅行も実施している。それを期待していた1年生、2年生に本当に申し訳ない。実施可能となるときが来れば、再開したい。また、11月に近隣の幼稚園と合同で防災訓練していたが、こちらも本校のみの実施であり、支援学校との連携も作品展にとどまった。こちらも可能となれば再開したい。先が見えない中、何か変わるものを計画することを考える必要があるだろう。

生徒	21	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	16.9%	46.2%	19.5%	10.2%	7.2%	63.1%	29.7%
			2年	14.3%	44.2%	25.1%	8.7%	7.8%	58.4%	33.8%
			3年	15.6%	43.3%	26.8%	7.1%	7.1%	58.9%	33.9%
			全体	15.6%	44.6%	23.7%	8.7%	7.4%	60.2%	32.4%
保護者	22	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	14.9%	42.3%	17.4%	6.0%	18.9%	57.2%	23.4%
			2年	13.0%	42.7%	15.7%	9.7%	18.9%	55.7%	25.4%
			3年	17.4%	39.1%	19.3%	6.8%	17.4%	56.5%	26.1%
			全体	15.5%	41.2%	17.5%	7.4%	18.3%	56.6%	24.9%
教員	24	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	人数	5	16	23	12	1	21	35
			百分率	8.8%	28.1%	40.4%	21.1%	1.8%	36.8%	61.4%

生徒の肯定率が上がった。ICT 機器を使った授業が増えている影響か。今年度普通教室にプロジェクタを設置できた。また、体育館エアコンが設置されようとしている。創立19年目ではあるが、前身の守口北高校から40年以上が経過している校舎や設備の老朽化は否めない。安全面や授業への影響も考えると早急に予算措置が望まれている。来年度の創立20周年記念事業では、視聴覚教室エアコン、体育館放送設備を整えていただけることとなり、本当にありがたい。

生徒	22	芦間高校のホームページは自分にとって必要な情報が得られるようになっている。	1年	16.1%	34.7%	14.0%	4.7%	30.5%	50.8%	18.6%
			2年	16.5%	32.5%	19.0%	4.3%	27.7%	48.9%	23.4%
			3年	14.6%	42.5%	18.1%	3.1%	21.7%	57.1%	21.2%
			全体	15.7%	36.5%	17.0%	4.0%	26.7%	52.2%	21.1%
保護者	23	芦間高校のホームページは、保護者にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	1年	19.4%	41.8%	18.4%	8.0%	11.9%	61.2%	26.4%
			2年	18.9%	49.7%	9.7%	2.7%	18.4%	68.6%	12.4%
			3年	24.6%	45.9%	9.7%	3.4%	16.4%	70.5%	13.0%
			全体	21.2%	45.5%	12.6%	4.9%	15.5%	66.7%	17.5%
教員	25	芦間高校のホームページは、保護者や生徒にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	人数	8	33	6	4	6	41	10
			百分率	14.0%	57.9%	10.5%	7.0%	10.5%	71.9%	17.5%

今年度は、生徒の肯定率が14ポイントアップした。臨時休業が多くホームページを見る場面が増えたのであろう。保護者については昨年とほぼ同じである。保護者の皆様はどんな状況でもに活用していただいているということであろう。また、オープンスクールのアンケートから入学前の中学生が情報を得るためにアクセスしていることが多いようである。今年度は、説明会も制限を設けての実施であった。広報としてコンテンツを増やすことができたのが、今年度の大きな収穫である。今後も、できるだけその時々に必要な情報をアップロードし、活用していただきたいと考えている。

生徒	23	芦間高校は、教育方針や経営方針を、生徒にわかりやすく伝えている。	1年	16.2%	37.6%	13.2%	8.1%	24.8%	53.8%	21.4%
			2年	8.2%	36.4%	26.0%	10.0%	19.5%	44.6%	35.9%
			3年	14.6%	31.4%	25.2%	6.6%	22.1%	46.0%	31.9%
			全体	13.0%	35.2%	21.4%	8.2%	22.1%	48.2%	29.7%
保護者	24	芦間高校は、教育方針や経営方針をわかりやすく伝えている。	1年	16.4%	43.3%	13.4%	3.0%	23.4%	59.7%	16.4%
			2年	16.8%	50.8%	9.2%	3.2%	20.0%	67.6%	12.4%
			3年	15.0%	44.0%	14.5%	0.5%	26.1%	58.9%	15.0%
			全体	16.1%	45.7%	12.6%	2.2%	23.2%	61.8%	14.8%
教員	26	芦間高校は、教育方針や経営方針を生徒や保護者にわかりやすく伝えている。	人数	6	32	5	4	10	38	9
			百分率	10.5%	56.1%	8.8%	7.0%	17.5%	66.7%	15.8%
保護者	15	芦間高校は、教育情報について、積極的に提供する努力をしている。	1年	16.9%	43.8%	12.4%	3.5%	22.4%	60.7%	15.9%
			2年	19.5%	45.9%	11.4%	2.2%	21.1%	65.4%	13.5%
			3年	19.3%	46.9%	7.7%	1.4%	24.6%	66.2%	9.2%
			全体	18.8%	45.4%	10.4%	2.4%	22.7%	64.2%	12.8%

昨年度より生徒の肯定率は増加したが、決して高いとは言えない。否定率も高くは無く、「よくわからない」という方が多い。やはり、様々な機会をとらえてわかりやすく伝えていく必要がある。

保護者	18	子どもは、家で学校の友達の話をよくする。	1年	43.8%	35.8%	13.4%	6.0%	0.5%	79.6%	19.4%
			2年	43.8%	35.1%	10.3%	9.2%	1.6%	78.9%	19.5%
			3年	48.8%	31.4%	13.0%	5.8%	1.0%	80.2%	18.8%
			全体	45.5%	33.9%	12.4%	6.9%	1.0%	79.5%	19.3%
教員	30	生徒は、学校に友達がいると言っている。	人数	15	36	1	1	4	51	2
			百分率	26.3%	63.2%	1.8%	1.8%	7.0%	89.5%	3.5%

昨年度より3ポイントほどアップしている。家庭で学校の話をしないう生徒が多くなっていると言われているが、本校生については、比較的話をしているようである。1年生の産業社会と人間でのピアサポート等の取り組みは例年通り行うことができた。校外学習等がなかったが、このような仲間づくりの取り組みの影響もあると思われる。ただ、否定的な回答もやはりあるようだ。入学時のみではなく、継続的に取り組んでいく必要がある。

保護者	17	芦間高校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	1年	21.9%	48.3%	5.5%	3.0%	20.4%	70.1%	8.5%
			2年	18.4%	44.3%	10.8%	3.2%	23.2%	62.7%	14.1%
			3年	17.9%	52.7%	7.2%	1.4%	20.8%	70.5%	8.7%
			全体	19.7%	48.4%	7.7%	2.5%	21.3%	68.1%	10.3%

否定率が低く、「わからない」という回答が一定数あることを考えると、HR活動等を通しての学校の指導方針がある程度理解されているのではないと思われる。

生徒	24	先生は、責任を持って、授業やその他の仕事に当たっている。	1年	25.0%	40.7%	11.9%	3.0%	19.5%	65.7%	14.8%
			2年	12.6%	48.1%	16.0%	5.6%	17.7%	60.6%	21.6%
			3年	21.7%	50.0%	11.1%	3.1%	14.2%	71.7%	14.2%
			全体	19.8%	46.2%	13.0%	3.9%	17.2%	65.9%	16.9%

今年度は、生徒・保護者のご理解ご協力で授業を行うことができています。昨年度よりも肯定率がアップしているのは、生徒が共感して協力してくれているためである。この状況下、生徒が喜んでくれる「できること」を増やしていきたい。

保護者	19	芦間高校の学校行事や公開授業に参加したことがある。	1年	19.9%	11.9%	10.9%	49.8%	7.0%	31.8%	60.7%
			2年	50.3%	27.0%	8.6%	13.0%	1.1%	77.3%	21.6%
			3年	44.0%	26.1%	13.5%	15.9%	0.5%	70.0%	29.5%
			全体	37.8%	21.5%	11.1%	26.6%	2.9%	59.3%	37.6%

保護者のみなさまには、本当に申し訳ない思いである。公開授業はなんとか開催でき、昨年より参加人数を増やした。それは、学校行事を保護者に公開できなかったことも影響しているだろう。感染症拡大の予防に関しては、保護者の皆さまのご理解を得ることができた。来年度は何か方策を探りたい。

教員	27	教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	人数	15	27	7	5	3	42	12
			百分率	26.3%	47.4%	12.3%	8.8%	5.3%	73.7%	21.1%
	28	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	人数	12	27	11	3	4	39	14
			百分率	21.1%	47.4%	19.3%	5.3%	7.0%	68.4%	24.6%
	29	芦間高校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている。	人数	16	33	3	1	4	49	4
			百分率	28.1%	57.9%	5.3%	1.8%	7.0%	86.0%	7.0%

「日常的に話し合っている」の肯定率が減少している。教員は多忙を極めており、業務を整理し、時間の確保が必要である。

生徒への指導については頭ごなしに指導せず、生徒個々の様子を見ながら、その生徒に適した指導に努めていると思われる。

		教務	令和2年度							
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、自分の理解度に合っていて、内容がよくわかるようになった。	1年	25.3%	42.6%	19.8%	6.8%	5.5%	67.9%	26.6%
			2年	16.0%	43.7%	23.8%	6.5%	10.0%	59.7%	30.3%
			3年	23.0%	49.1%	16.4%	3.1%	8.4%	72.1%	19.5%
			全体	21.5%	45.1%	20.0%	5.5%	7.9%	66.6%	25.5%
保護者	3	習熟度別による少人数展開の授業は、考査後新しいクラス分けがあることなどの効果で、子どもの学習意欲はより高まったようである。	1年	19.9%	38.8%	22.4%	6.0%	12.4%	58.7%	28.4%
			2年	9.7%	43.8%	20.0%	10.8%	15.1%	53.5%	30.8%
			3年	19.8%	46.9%	15.5%	4.8%	13.0%	66.7%	20.3%
			全体	16.6%	43.2%	19.2%	7.1%	13.6%	59.8%	26.2%
教員	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、生徒の理解度に合っていて、内容がよく理解でき	人数	16	33	1	1	6	49	2
			百分率	28.1%	57.9%	1.8%	1.8%	10.5%	86.0%	3.5%

生徒は66.6%、保護者は約6割が肯定的な評価をしている。生徒、保護者ともに一定の効果を実感していると思われ、今後も続けていくべきだと考える。

生徒	5	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価を受けている。	1年	29.5%	47.7%	6.3%	1.3%	15.2%	77.2%	7.6%
			2年	37.2%	40.3%	9.1%	3.9%	9.5%	77.5%	13.0%
			3年	42.0%	42.0%	6.2%	1.8%	8.0%	84.1%	8.0%
			全体	36.2%	43.4%	7.2%	2.3%	11.0%	79.5%	9.5%
保護者	5	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価を受けているようである。	1年	27.9%	43.3%	10.0%	1.5%	17.4%	71.1%	11.4%
			2年	31.9%	45.9%	8.6%	0.0%	13.5%	77.8%	8.6%
			3年	35.7%	46.9%	4.3%	1.0%	11.6%	82.6%	5.3%
			全体	32.1%	45.2%	7.6%	0.8%	14.1%	77.3%	8.4%
教員	6	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価をしている。	人数	39	14	3	0	1	53	3
			百分率	68.4%	24.6%	5.3%	0.0%	1.8%	93.0%	5.3%

成績について、テストの得点だけでなく様々な面から評価を受けているとは感じていない生徒や保護者が約2割いる。成績算出の方法は最初の授業で生徒に伝えているが、授業や課題等への取り組みの大切さやそれが評価につながることを、日々生徒に伝えていくことも必要である。

生徒	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われている。	1年	34.6%	44.7%	9.7%	3.0%	8.0%	79.3%	12.7%
			2年	23.9%	45.7%	16.5%	5.2%	8.7%	69.6%	21.7%
			3年	17.3%	51.8%	16.4%	7.5%	7.1%	69.0%	23.9%
			全体	25.4%	47.3%	14.1%	5.2%	7.9%	72.7%	19.3%
保護者	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われているようである。	1年	19.9%	45.3%	12.9%	4.5%	16.4%	65.2%	17.4%
			2年	21.6%	45.9%	10.3%	1.6%	18.9%	67.6%	11.9%
			3年	20.3%	44.9%	11.6%	4.3%	17.9%	65.2%	15.9%
			全体	20.8%	45.2%	11.6%	3.5%	17.6%	66.1%	15.1%
教員	9	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行っている。	人数	21	25	3	4	4	46	7
			百分率	36.8%	43.9%	5.3%	7.0%	7.0%	80.7%	12.3%

科目選択の指導について、今年度は休校期間もあり例年のように時間をかけることができなかったが、生徒や保護者の評価は昨年度よりも高くなった。今後も、一人ひとりの進路希望に合った指導ができるよう更に工夫をしていく。

生徒	9	芦間高校は選択科目が多く、自分の進路や興味に合わせて選べるところが魅力である。	1年	50.2%	38.4%	7.6%	1.3%	2.5%	88.6%	8.9%
			2年	45.5%	38.5%	8.7%	2.6%	4.8%	84.0%	11.3%
			3年	46.5%	40.3%	7.5%	4.4%	1.3%	86.7%	11.9%
			全体	47.4%	39.0%	7.9%	2.7%	2.9%	86.5%	10.7%
保護者	9	芦間高校は、選択科目が多く、それらを自分の進路や興味に合わせて選べるところが魅力である。	1年	50.2%	41.8%	4.0%	0.5%	3.0%	92.0%	4.5%
			2年	44.9%	40.0%	8.1%	2.7%	3.8%	84.9%	10.8%
			3年	52.7%	39.6%	3.9%	1.9%	1.9%	92.3%	5.8%
			全体	49.6%	40.3%	5.2%	1.7%	2.9%	89.9%	6.9%
教員	10	芦間高校は、選択科目が多く自分の進路や興味に合わせて選べるところが、魅力である。	人数	22	24	6	5	0	46	11
			百分率	38.6%	42.1%	10.5%	8.8%	0.0%	80.7%	19.3%

選択科目が多いことを魅力に感じている生徒は86.5%、保護者は89.9%と高い評価となった。これまで通り今後も進めていく。今年度は、選択科目指導にかける期間が短くなる状況であったにもかかわらず、肯定的な回答の割合が上がった。進路、教務ともに連携して説明会等の計画を練り、保護者懇談で、保護者へルールなど周知していただいた効果であろうと思われる。最終調査の段階でかなり調整を行ったが、学年の協力で一人一人に対応ができた。今年度末に、科目選択のスケジュールをたてて、進路指導部、学年との早期の連携をはかる予定である。今後とも選択科目の設定、選択群配置の改良につとめていく。

		生徒指導	令和2年度							
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	11	芦間高校の生徒指導の方針は、理解できる。	1年	18.3%	43.0%	20.0%	6.8%	11.9%	61.3%	26.8%
			2年	10.4%	35.5%	25.5%	11.7%	16.9%	45.9%	37.2%
			3年	13.7%	41.2%	22.1%	8.8%	14.2%	54.9%	31.0%
			全体	14.2%	39.9%	22.5%	9.1%	14.3%	54.0%	31.6%
保護者	13	芦間高校の生徒指導の方針は理解できる。	1年	19.9%	48.3%	6.5%	4.0%	20.9%	68.2%	10.4%
			2年	21.1%	43.2%	8.1%	4.9%	22.7%	64.3%	13.0%
			3年	22.2%	46.4%	5.3%	4.8%	21.3%	68.6%	10.1%
			全体	21.3%	45.9%	6.6%	4.5%	21.5%	67.2%	11.1%
教員	12	芦間高校の生徒指導の方針は、生徒や保護者に理解されている。	人数	9	32	6	1	9	41	7
			百分率	15.8%	56.1%	10.5%	1.8%	15.8%	71.9%	12.3%

生徒の肯定率54.0%で数値だけを見ると高いとは言えないが、生徒指導という性質上やむを得ないと考える。また、現在の生徒指導方針は落ち着いた学習環境を構築する上で最低限の方針だと考える。ただ、2年間で肯定率は増加し、否定率も減少しているため、徐々にではあるが、生徒指導に対しての理解が進んでいると考える。引き続き、きめ細やかな指導を目ざし、生徒指導に対する理解を深めていく。

保護者の方の肯定率67.2%は生徒同様増加傾向で、この程度で問題ないとする。

生徒	12	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会や豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	1年	29.2%	45.8%	12.3%	3.4%	9.3%	75.0%	15.7%
			2年	13.4%	45.9%	20.8%	4.8%	15.2%	59.3%	25.5%
			3年	25.7%	47.8%	16.8%	2.7%	7.1%	73.5%	19.5%
			全体	22.8%	46.5%	16.6%	3.6%	10.5%	69.3%	20.2%
教員	13	芦間高校は、生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	人数	22	25	3	4	3	47	7
			百分率	38.6%	43.9%	5.3%	7.0%	5.3%	82.5%	12.3%

否定率が20.2%と決して低くない。命の大切さについてはしっかりと学んでいるし問題事象も発生していない。しかし、社会のルールについて周辺住民や店舗からのクレームも多い。もう高校生なのだから、学校外の生活についての躰は家庭や小中学校での指導で身に付いているという既成概念にとらわれることなく、基本から学ばせる必要がある。

教員	20	芦間高校は、学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	人数	18	32	2	3	2	50	5
			百分率	31.6%	56.1%	3.5%	5.3%	3.5%	87.7%	8.8%
生徒	18	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	1年	51.7%	35.2%	4.7%	2.1%	6.4%	86.9%	6.8%
			2年	46.7%	40.2%	5.7%	3.5%	3.9%	86.9%	9.2%
			3年	48.9%	38.7%	7.6%	3.1%	1.8%	87.6%	10.7%
			全体	49.1%	38.0%	5.9%	2.9%	4.1%	87.1%	8.8%
保護者	20	芦間高校生は文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加しているようである。	1年	39.8%	37.8%	7.5%	2.0%	12.4%	77.6%	9.5%
			2年	56.2%	33.0%	3.8%	0.0%	7.0%	89.2%	3.8%
			3年	50.2%	39.1%	3.4%	1.0%	6.3%	89.4%	4.3%
			全体	48.7%	36.6%	4.9%	1.0%	8.6%	85.4%	5.9%
教員	21	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	人数	24	29	3	0	1	53	3
			百分率	42.1%	50.9%	5.3%	0.0%	1.8%	93.0%	5.3%

生徒、保護者ともに90%近い肯定率を得ているが、今年度は行事の変更もあり、1年生の保護者の肯定率が低い結果となった。来年度以降、高い水準を維持できるような工夫が必要である。

生徒	19	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	1年	20.9%	42.3%	12.0%	3.8%	20.9%	63.2%	15.8%
			2年	20.3%	36.4%	21.2%	8.2%	13.9%	56.7%	29.4%
			3年	17.7%	38.5%	25.2%	4.9%	13.7%	56.2%	30.1%
			全体	19.7%	39.1%	19.4%	5.6%	16.2%	58.8%	25.0%
保護者	21	芦間高校生は生徒会活動に関心を持って積極的に参加しているようである。	1年	13.4%	33.3%	11.9%	5.0%	35.3%	46.8%	16.9%
			2年	18.9%	28.6%	13.0%	5.9%	33.0%	47.6%	18.9%
			3年	19.8%	34.8%	7.7%	3.9%	33.8%	54.6%	11.6%
			全体	17.5%	32.3%	10.8%	4.9%	34.1%	49.7%	15.6%
教員	22	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	人数	11	28	9	4	5	39	13
			百分率	19.3%	49.1%	15.8%	7.0%	8.8%	68.4%	22.8%

肯定率は6割に達していないが、生徒総会の様子など見ていると積極的に参加している生徒は多いと思われる。ただ、否定的評価も3割程度いるので、まだ身近なものになっていないかもしれない。今後も継続して生徒会活動について生徒の代表である生徒会執行部から発信していく必要があると考える。

生徒	20	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	1年	26.0%	40.9%	16.2%	4.3%	12.8%	66.8%	20.4%
			2年	24.2%	42.9%	15.6%	6.1%	11.3%	67.1%	21.6%
			3年	26.5%	40.3%	20.8%	4.0%	8.4%	66.8%	24.8%
			全体	25.6%	41.3%	17.5%	4.8%	10.8%	66.9%	22.3%
教員	23	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	人数	9	35	10	1	2	44	11
			百分率	15.8%	61.4%	17.5%	1.8%	3.5%	77.2%	19.3%

生徒の肯定率66.9%は低いように感じるが、実際には70%程度は部活動に参加しているので、この結果とは別に、部活動加入率80%を目指していきたい。ただ、否定率の増加につれて否定率の増加につれてアルバイトの許可申請が増加しており、その理由はほとんどが進学準備のためである。奨学金の問題がクローズアップされてから進学の金銭面に対する不安が増大している。学習面も生活面も悪影響があるので、保護者の理解を得たい。

進路指導		令和2年度							
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	6 芦間高校は進路について考える機会が多い。	1年	59.9%	34.2%	3.0%	0.0%	3.0%	94.1%	3.0%
		2年	67.5%	27.3%	2.6%	1.7%	0.9%	94.8%	4.3%
		3年	60.2%	32.3%	4.4%	1.8%	1.3%	92.5%	6.2%
		全体	62.5%	31.3%	3.3%	1.2%	1.7%	93.8%	4.5%
保護者	6 芦間高校は進路について考える機会が多く設定されているようである。	1年	46.3%	36.3%	9.0%	0.5%	8.0%	82.6%	9.5%
		2年	37.8%	43.8%	6.5%	1.1%	10.8%	81.6%	7.6%
		3年	37.2%	41.1%	8.2%	2.4%	10.6%	78.3%	10.6%
		全体	40.7%	40.2%	7.9%	1.3%	9.7%	80.8%	9.2%
教員	8 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	人数	19	29	3	3	3	48	6
		百分率	33.3%	50.9%	5.3%	5.3%	5.3%	84.2%	10.5%

保護者生徒ともに概ね高い評価であり問題ないと思われる。

保護者より生徒のほうが高いことは、より生徒には伝わっているということであり、良い結果である。

個々の差を埋めるには、保護者と生徒との対話を増やしていただくことが最も大事である。

このことは、進路のみでなくいろんな部署での働きかけが必要であろう。

生徒	10 奨学金制度についての情報は、十分に知らされている。	1年	12.7%	26.6%	22.8%	9.3%	28.7%	39.2%	32.1%
		2年	4.3%	36.1%	25.7%	12.2%	21.7%	40.4%	37.8%
		3年	20.9%	45.8%	14.7%	6.2%	12.4%	66.7%	20.9%
		全体	12.6%	36.0%	21.1%	9.2%	21.1%	48.6%	30.3%

奨学金については、3年生の肯定率がアップした。2年生の奨学金説明会を3学期に受け、感染症対策を行いながら、奨学金の手続作業をきめ細かく計画したことが表れているのではないかと。2年生は、臨時休業の関係でこれから奨学金説明会を行う。1年生は、今年度進路関係の産業社会の人間の時間が少なくなってしまう、その状況が肯定率の減少となったのであろう。

人権教育推進委員会		令和2年度							
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	17 人権について学ぶ機会がある。	1年	28.9%	47.2%	10.6%	0.9%	12.3%	76.2%	11.5%
		2年	36.4%	47.6%	10.8%	1.3%	3.9%	84.0%	12.1%
		3年	44.9%	45.8%	5.8%	0.4%	3.1%	90.7%	6.2%
		全体	36.6%	46.9%	9.1%	0.9%	6.5%	83.5%	10.0%
保護者	25 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっているようである。	1年	21.4%	45.8%	8.5%	4.0%	19.9%	67.2%	12.4%
		2年	18.4%	41.6%	8.6%	4.9%	26.5%	60.0%	13.5%
		3年	22.2%	45.4%	6.3%	2.4%	23.7%	67.6%	8.7%
		全体	20.7%	44.4%	7.9%	3.7%	23.2%	65.0%	11.6%
教員	18 芦間高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	人数	22	25	5	1	4	47	6
		百分率	38.6%	43.9%	8.8%	1.8%	7.0%	82.5%	10.5%
教員	19 芦間高校の教職員は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	人数	19	25	7	1	5	44	8
		百分率	33.3%	43.9%	12.3%	1.8%	8.8%	77.2%	14.0%

生徒・保護者の項目では昨年に比べ肯定率は上がっている。各学年の取り組みの成果と考える。

教員の項目では昨年に比べ肯定率が下がっている。今年度はコロナ感染症への対応に追われ、生徒への対応に余裕が持てていないと感じている教員が多い結果ではないかと考える。

#### ■改善点

保護者に生徒向け人権講演等の情報を積極的に発信していけば、さらに肯定率は上がると考える。

産社・総学調整委員会		令和2年度							
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	7 「産業社会と人間」や「総合学習」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになった。	1年	35.4%	43.0%	12.2%	4.6%	4.6%	78.5%	16.9%
		2年	36.8%	42.0%	11.7%	5.2%	4.3%	78.8%	16.9%
		3年	29.2%	45.1%	15.5%	4.0%	6.2%	74.3%	19.5%
		全体	33.9%	43.4%	13.1%	4.6%	5.0%	77.2%	17.7%
保護者	7 「産業社会と人間」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになったようである。	1年	16.9%	36.8%	19.4%	5.5%	20.9%	53.7%	24.9%
		2年	16.2%	40.0%	13.0%	5.9%	24.9%	56.2%	18.9%
		3年	15.9%	44.4%	21.3%	2.4%	15.5%	60.4%	23.7%
		全体	16.3%	40.5%	18.0%	4.5%	20.3%	56.8%	22.5%
教員	7 生徒は、「産業社会と人間」などの授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになっている。	人数	25	20	5	2	5	45	7
		百分率	43.9%	35.1%	8.8%	3.5%	8.8%	78.9%	12.3%

おおむね例年通りの結果である。全体的に生徒側微増、保護者微減。

1・2年ともに授業内容を大幅に変更した部分もあるが、このアンケートには反映されていないようである。

1年ジョブカバリー実施と2年論文(4000字)を実施すれば結果は来年度も大きく変わらないだろう。

「産業社会と人間」において ジョブカバリー→ピアサポート→未来のミカタ の流れは今後も継続していく。

### ※ジョブカバリーのインタビューに関して

今年度は実際に訪問をしてインタビューすることは中止にした。メールでの質疑応答でインタビューの代わりとした。Teams や Zoom を活用してオンラインインタビューを行った班もある(スマホ1台で実施可能)。企業側もメール対応を用意しているところが多く、教員負担は少なかった。今年度はトラブルもなかった(例年はアポイントの時点で数件ある)。しかし、実際に面と向かってインタビューする緊張感や達成感は味わえないことから、来年以降は可能な限りオンラインインタビューを実施するべきなのかもしれない

いじめ防止及び対策委員会			令和2年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	15 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	1年	20.8%	29.2%	5.9%	3.0%	41.1%	50.0%	8.9%
		2年	17.7%	32.9%	11.3%	3.5%	34.6%	50.6%	14.7%
		3年	18.1%	33.6%	8.8%	2.7%	36.7%	51.8%	11.5%
		全体	18.9%	31.9%	8.7%	3.0%	37.5%	50.8%	11.7%
保護者	12 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる	1年	10.9%	25.4%	7.0%	2.0%	54.2%	36.3%	9.0%
		2年	15.1%	30.8%	1.6%	1.1%	51.4%	45.9%	2.7%
		3年	15.5%	23.7%	8.7%	1.9%	49.8%	39.1%	10.6%
		全体	14.1%	26.4%	5.9%	1.7%	51.6%	40.5%	7.6%
教員	16 芦間高校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	人数	22	29	2	3	1	51	5
		百分率	38.6%	50.9%	3.5%	5.3%	1.8%	89.5%	8.8%

肯定率が50%にあがった。否定的な意見も少ない。「わからない」が最も多いのはいじめに直面することがあまりないからであると考えられる。しかしながら、見えないところで起こっている可能性もあり、日頃の指導により、生徒の意識を高め、未然に防ぐことで、否定的な意見を0に近づけるように努力したい。

教育相談担当			令和2年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	13 担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談することができることを知っている。	1年	23.7%	33.5%	14.4%	11.0%	17.4%	57.2%	25.4%
		2年	28.1%	39.8%	14.3%	4.8%	13.0%	68.0%	19.0%
		3年	35.0%	38.1%	11.5%	5.3%	10.2%	73.0%	16.8%
		全体	28.9%	37.1%	13.4%	7.1%	13.6%	65.9%	20.5%
保護者	14 担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談できることを知っている。	1年	20.4%	29.9%	12.4%	7.5%	28.9%	50.2%	19.9%
		2年	30.3%	28.1%	10.8%	3.8%	26.5%	58.4%	14.6%
		3年	33.3%	32.9%	8.7%	4.8%	19.8%	66.2%	13.5%
		全体	28.2%	30.3%	10.6%	5.4%	24.9%	58.5%	16.0%
教員	14 芦間高校は教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員にも相談することができる。	人数	26	23	3	2	3	49	5
		百分率	45.6%	40.4%	5.3%	3.5%	5.3%	86.0%	8.8%

集計結果は13については昨年度より約10%、14については約5%肯定率が上がっている。各学年からの情報提供、保健室からの情報提供のおかげだと考える。また、今年度は「相談室だより」を4号発行し、SCの来校日を発信した。SC来校日を生徒に知ってもらうためにも「相談室だより」の発行は有効だと考える。

今年度はコロナの影響もあり、例年より保健室の利用者数が増えている。保健室での心のケアと情報提供もあり、SCにつながるケースが多かった。今後も各学年、保健室、養育相談委員との連携が重要だと考える。

用する生徒も多く、来室者の数はふえている。おそらく、「かなり強い不安やいづらさを感じている生徒」が継続的に利用し、他の生徒はあまり注意をはらっていないのではないかと考える。

「相談できる場所」の認知度を上げるために、これからも「教育相談室だより」の発行とともに、「担任からの紹介」を日常的に行っていく。

### 教員質問事項14について

集計結果は昨年度より約5%肯定率が下がっている。今年度は担当者も変わり、教員にむけてSCの情報が発信できていなかった可能性がある。Yドライブの掲示板やEdmodo等利用して教員にSC来校日や空き状況などもっと積極的に配信していくべきであった。

また、授業時間帯の利用についても今年度は教員の利用が少なかった。SCにかかっている生徒、会議で上がってきている生徒の担任や、学年主任に個別で声掛けをし、もっと教員も利用しやすい体制を整えていかなければならない。